

■2025 年度 A 日程一般入学試験・実務経験者特別入学試験

「小論文」問題の出題趣旨・解説

【出題趣旨】

〔問〕は、死刑制度について、仮に、存続論の立場に立った上で、廃止論の立場から批判を前提に、これに対する反論を求める問題である。受験生各自の死刑制度に対する見解を問うものではない。法曹を目指すために必要な読解力、考察力、論理的な文章表現力を求めている。

【解説】

1. 解答にあたっての注意事項と解答方法について

解答にあたっては、問題表紙に、①解答の訂正方法（斜線又は横線での消去と次のマス目からの書き直し）、及び、②記入方法（記入欄・横書き）が指示されており、それに従った解答が求められる。誤字・脱字の多さも、採点基準に含まれる。

2. 〔問〕について

資料には、死刑存続論・廃止論それぞれの主たる論拠が整理されている。これを参考として、廃止論の論拠を考え、それに対する存続論からの反論を検討することになる。存続論及び廃止論それぞれの論拠を正確に理解し、適切な批判と反論をすることが求められる。

解答にあたっては、資料に記述された論拠に限定する必要はない。各論拠を正しく理解し、適切に批判し、論理的な記述ができているか、要領よく簡潔にまとめられているかがポイントとなる。